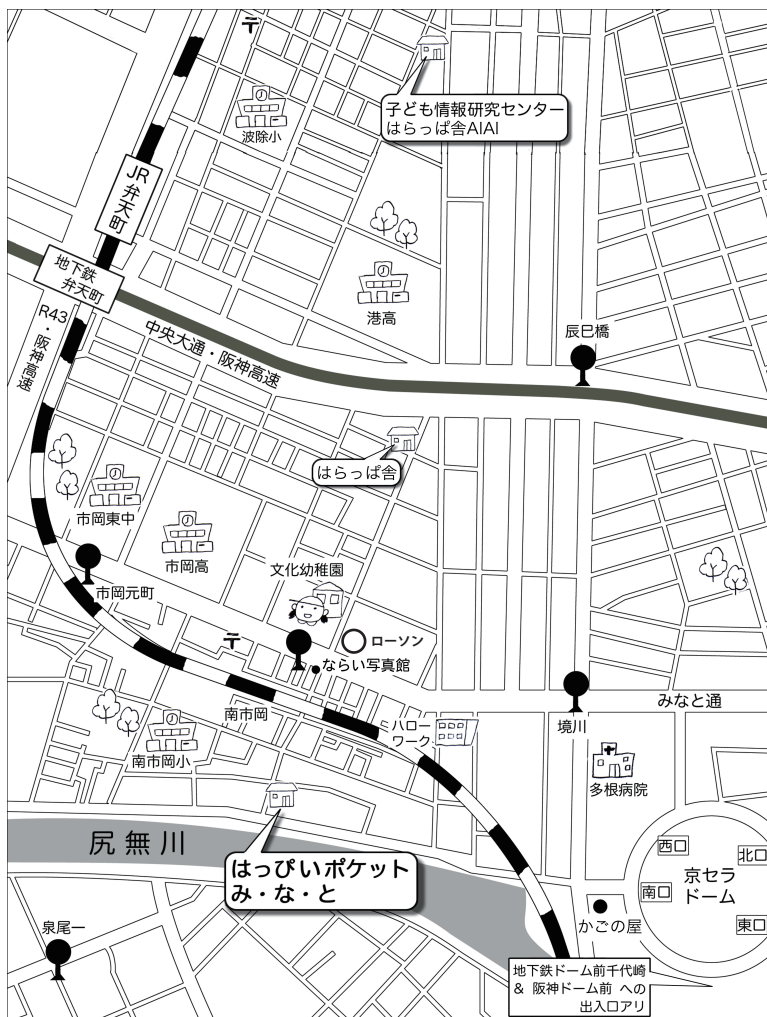


はっぴい ポケット み・な・と

つどいの広場「はっぴいポケットみ・な・と」の主催団体である(公社)子ども情報研究センターでは、子どもの人権に思いを寄せる会員がさまざまな活動をしています。子どもとともに安心して人とつながれる居場所として「はっぴいポケットみ・な・と」を一緒につくっていきませんか！



【お知らせ】午前7時に大阪市内に「暴風警報」又は「特別警報」が発令された場合、または状況により休館になる場合があります。その際のお問い合わせは(10:00～)(公社)子ども情報研究センター (TEL)06-4708-7087 (HP)http://www.kojoken.jp/

子育て中の親と子どもだけではなく、プレママ、プレパパ、おじいちゃん、おばあちゃん、ご近所のみなさん、いろんな国のいろんな人が集まってつながりや笑顔が生まれる広場



商店街や子育てサークルをはじめ、地域のたくさんの方々とつながりを大切にしています

好きな時にきて、自由にくつろいでもらえる時間を共有したり、時には楽しいイベントを開催したりみんなで作る広場です



大阪市地域子育て支援拠点事業 はっぴいポケットみ・な・と

費用：無料(行事等では実費徴収もあります)

開所：月・火・水・金・土 AM9:30～PM2:30

(木・日・祝日・年末年始などはおやすみ)

場所：尻無川自治会館1階(港区南市岡1-11-19)

電話：070-6649-4355

メール：hapipominato@willcom.com

アクセス：地下鉄&JR弁天町駅から徒歩約20分

地下鉄&JR大正駅から徒歩約20分

南市岡バス停から徒歩約8分

地下鉄ドーム前千代崎駅から徒歩約20分

阪神ドーム前駅から徒歩約20分

委託運営：(公社)子ども情報研究センター

はっぴいポケットみ・な・とのサイトへ



睡眠
子どもの眠りにひとりでつきあうのは大変。

「うるさいな！」耳栓をして寝ている夫の寝言に、「うるさいって!?」それでも自分は寝てるやん！」と、何度腹が立ったことでしょうか。育児には協力的な夫でしたが、1時間ごとの子どもの泣き声には相当まいっていました。子どもは、少しの音で起きてしまい、ちよつとずつしか寝ない子でした。

子どもが6か月になったある日のこと、激しく泣いて少しも寝ないことがありました。夫婦で心配して、病院に電話したら、「眠たくなったら眠るでしょう」と言われ、突き放されたような不安な気持ちで、わたし自身が泣いてしまいました。出口が全く見えなくて、「今だけよ」と言われることがつらかった。わたしはとにかく疲れていて、ゆっくり眠りたかった。夫の友だちがあそびに来たときには自分も加わりたかった。子どもが寝ているときだけが、自分の時間だと感じていたのだと思います。「しんどい」と言える場所かと思いを受けとめてもらえたら...」「思いきって子どもをあずけて気晴らしできていたら...」と、今では思っています。

冊子「新しい子育て・子育て支援子育て温泉」

公益社団法人子ども情報研究センター

発行・販売



ファミリー子育て何でもダイヤルは、あなたのほっとチャンネルです。

毎週水曜日 10:30～20:00
でんわ 06-6585-9287

大きな悩み… 小さな悩み
誰かに話せば すっきりするかも…

